

第19回 平取ダム地域文化保全対策検討会

議 事 要 旨

日 時：平成30年3月22日（木）午後1時30分開会
場 所：ふれあいセンターびらとり 1階 多目的集会室

北海道開発局室蘭開発建設部

沙流川ダム建設事業所

第19回平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨

日 時：平成30年3月22日（木）13：30～15：30

場 所：ふれあいセンターびらとり 1階 多目的集会室

出席者：貝澤 真澄 平取町議会総務文教常任委員会委員長

萱野 志朗 平取アイヌ協会副会長

川上 満 平取町長

木村 二三夫 平取アイヌ協会副会長

木幡 サチ子 平取アイヌ協会／平取アイヌ文化保存会理事

庄野 剛 平取町教育委員会教育長

鈴木 修二 平取町議会議長

常本 照樹 北海道大学アイヌ・先住民研究センター長

山崎 幸治 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授

次 第：1. 開会

2. 挨拶

3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について

4. 審議 地域文化に係る調査・検討について

5. 報告事項 地域文化調査の成果概要について

6. 閉会

資 料：会議次第

資料－1 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）

資料－2 「地域文化に係る調査・検討」について

資料－3 アイヌ文化環境保全対策事業

1. 開 会

事務局：それでは、定刻となりましたので、ただいまから第19回平取ダム地域文化保全対策検討会を開催いたします。

議事に入ります前に、会場の皆様をお願い申し上げます。

傍聴、取材につきましては、議事進行の妨げにならないよう、静粛にさせていただきますとともに、携帯電話につきましては、電源をお切りになるか、マナーモードに設定していただくよう、お願いいたします。

また、円滑な運営を図るため、フラッシュ、照明等を用いた撮影は冒頭の挨拶までとさせていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、本検討会の記録のため、事務局で録音、撮影を行いますことをご了承いただきます。

次に、資料の確認をさせていただきます。

まず、議事次第がございます。続きまして、資料－1、平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）、資料－2、「地域文化に係る調査・検討」について、資料－3、アイヌ文化環境保全対策事業です。

2. 挨拶

事務局：それでは、議事に先立ちまして、沙流川ダム建設事業所長より挨拶をいたします。

所長：会議の開催に当たりまして、一言、ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、年度末の大変お忙しいところ、本日は本検討会にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。

当事業所で建設を進めております平取ダムにつきましては、現在、本体工事等を進めているところでございますが、事業に伴う地域文化の保全という観点につきましては、本検討会を平成18年度に設置させていただきまして、平成25年度の第15回検討会において中間の取りまとめを行っていただき、これに沿って、現在、保全対策の具体化に向けた検討等を行っているところでございます。

本日は、第19回目の検討会となるところでございますが、前回検討会以降に進めてまいりました検討、調査結果等をご報告させていただき、ご意見をいただきたいと考えております。

本検討会におけるご意見、ご議論を踏まえながら、地域文化の保全にしっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくご願ひいたします。

以上、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について

事務局：それでは、議題次第の3、平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）についてに入らせていただきます。

今年度につきましては、検討会の構成委員についての変更はございません。

また、委員の委嘱期間は平成30年3月31日までとしております。

今ご説明しました検討会設置要領（案）について、委員の方々からご質問やご意見がございましたらお願いいたします。

（「なし」と発言する者あり）

事務局：特段ないということですので、本日より「（案）」をとりまして、本検討会の設置要領といたします。ありがとうございます。

また、昨年度に開催しました第18回検討会の議事録につきましては、室蘭開発建設部のホームページに掲載しておりますことをご報告いたします。

事務局：続きまして、座長の選出に移らせていただきます。

検討会の座長は、検討会設置要領第4条第2項で委員の互選と定められています。

ついでには、委員の皆様から座長のご推薦またはご自薦をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：昨年度も座長を務めていただいている〇〇委員にお願いしてはどうかと思います。

事務局：ただいま、〇〇委員をとのご推薦をいただきましたが、ほかにご推薦、ご自薦はございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

事務局：それでは、〇〇委員に座長をお願いするということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

事務局：それでは、委員の皆様の賛同をいただきましたので、〇〇委員に座長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

座長：座長に推薦いただきました〇〇でございます。

円滑な議事進行に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：それでは、これよりは座長に進行をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4. 審 議 地域文化に係る調査・検討について【資料－2】

座長：本日の大まかなスケジュールでございますが、最初に、これまでの地域文化に係る調査・検討について審議を行い、その次に、報告事項として、具体の地域文化調査の報告がございます。

それでは、次第4の審議として、地域文化に係る調査・検討について、事務局より説明をお願いいたします。

*事務局より資料－2 地域文化に係わる調査・検討について説明

座長：今、事務局より説明のありました地域文化に係る調査・検討について、委員の方々からご質問やご意見がございましたらお願いしたいと思います。

委員：展示についてお願いがあります。

1つは、子どもが見ても楽しめるようにというところに気をつけてつくっていただきたいと思います。

もう1つは、時間がたっても古さを感じさせない展示になるように、定期的なメンテナンスやコンテンツの更新をしやすい展示のあり方を検討いただければと思います。

委員：〇〇委員から子どもにわかりやすいという意見がありましたが、うちの町内の小学校3・4年生が、社会科見学ということで、町内の公共施設を見て歩くという機会がありました。うちの町内の子どもたちもこういう施設を回るようにしていきたいと思いますが、子どもたちにわかりやすい展示、説明に配慮していただけるとありがたいと思います。

事務局：今いただいたご意見を踏まえて、子どもの皆さんはどのようなものがわかりやすいかということも含めて、今後、中身を詰めさせていただきたいと思います。

また、〇〇委員からご指摘がありました古さを感じさせないというところにつきましても、展示の更新をしやすい形にしていきたいと考えております。

委員：11ページ目のゾーン1の1ですが、「ゾーンを象徴する写真（ポロシリ山）」となっています。ゾーン1のタイトルでは「ポロシリの山ふところの自然」となっていますが、ゾーンを象徴する写真では「ポロシリ山」となっています。これは、国土地理院では幌尻岳となっています。その使い分けを明確にしたほうがいいと思います。幌尻岳のことをアイヌ語を使ってポロシリと言うとしても、それに「山」をつけると、何が何だかわからなくなるような気がします。

事務局：ご指摘を踏まえて整理したいと思います。

委員：有用植物保全モデル地区の整備計画の中で、植栽を行ってというふうに出ております。オヒョウなどを植えていくという話だったと思いますが、シカの被害が結構多い地区ですので、植えた後の管理はどのように考えているのか、教えていただきたいと思います。

事務局：シカ対策の件につきましては、整備をしている一部の箇所では既に鹿柵を設置しているところもありますので、今後も状況に応じながら対策を考えていきたいと思います。

座長：ほかにありませんか。

（「なし」と発言する者あり）

5. 報告事項

座長：それでは、5の報告事項として、地域文化調査の概要について、平取町アイヌ文化保全対策室より説明をお願いいたします。

*対策室より「アイヌ文化環境保全対策事業 各作業分野における取組・成果の概況」について報告

座長：続きまして各分野の説明になりますけれども、まずは精神文化保全対策に関する調査につきまして、対策室より説明をお願いいたします。

*対策室より「1 精神文化保全対策に関する調査」について報告

座長：精神文化保全対策に関する調査につきまして、委員の方々からご意見やご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：「各作業分野における取組・成果の概況」の報告のときに、今後も、環境への影響が少ない馬を活用した取り組みを進められるという話がありました。今、農用馬の数が少なくなっているのですが、今後、農用馬を保存していくということで農家などと話をされたりしていますか。

対策室：これからということ言うと、ご心配の問題点は大きいと思います。

森づくりの指導を受けている先生は馬の扱いもやっておられまして、作業に使う馬とトレイルに使う馬はそれぞれ違う種なのですが、その先生のご指導を受けながら取り組みを

進めていきたいと思っています。

なぜこだわるかという、歴史的な伝統文化とは関係ないと思ってしまうと思いますが、アイヌの人々は、馬番兵をするときにはチノミシリを大事にして、お祈りもしておられました。

実際には、作業車として使うトラックのようなものだと思っていただいてもいいと思いますが、馬をしっかり確保して使えるというのは、1つのステータスといえますか、仕事も楽にこなせるということがありますので、馬とのかかわりを強い想いで語られる方も多いです。それは、アイヌ民族系の方々もそうです。これは、しっかり歴史的な事実として受け止めて、しっかり表現していくことが必要ではないかと思い、馬は重視しておりました。たまたま、森づくりの指導を受ける先生とのかかわりもありまして、ぜひこの機会につなげるということも含めてやったほうがいいと思っています。

委員：カムイワッカのことですが、いつもカムイワッカのところを通って見るのですが、余り整備されていません。今、橋もなくなって、あそこのカムイワッカは幾ら整備しても人があまり行かなくて、だめになってしまうのではないかと心配しています。この図面にも川の前にカムイワッカが出ていますが、これを本当に管理していけるのかと心配しています。

事務局：カムイワッカ近傍の橋は、既に高い橋に架け替えています。そこにアクセスする道路は当然残して、必要な管理をしていきたいと考えております。

委員：わかりました。

座長：ほかにありませんか。

(「なし」と発言する者あり)

座長：なければ、続きまして、生物の生存環境に関する調査の中の植物の保全対策に関する調査について、対策室より説明をお願いいたします。

*対策室より「2 生物の生存環境現地調査 1 植物の保全対策に関する調査」について報告

座長：植物の保全対策に関する調査について、委員の方々からご質問やご意見がございましたらお願いしたいと思います。

委員：鹿柵を整備していますが、ネットの下のほうを持ち上げて入ることがありますか。

また、サイズの的には、前に産業課で整備したものと違うものですか。同じ規格ですか。

対策室：町の規格と同じです。

委員：鹿柵は、地上から2メートルぐらい出ていますね。ただ、地形によっては、シカが上を飛び越えて入って、出られなくなって、中で絡まって死んでしまうということが過去にありましたね。そういうことはなかったですか。

また、これは、シカには有効だけれども、クマにはききませんよね。以前、クマがフェンスごと倒したりということがあったのですが、今回、そのようなことはなかったですか。

対策室：以前、鹿柵ができる前にはクマも撮影されています。鹿柵ができてからは、シカの痕跡が多く、上を越えた痕跡もありましたが、下から潜っているほうが多いです。

クマは、今年度は確認していません。

委員：12ページの生活用具のことですが、今後もこういうものをつくっていく予定になっていますか。

対策室：そうなっています。萱野茂さんの「アイヌの民具」を参考に、毎年、少しずつ製作しています。

委員：多分、二風谷アイヌ文化博物館にもいろいろな資料があると思いますので、二風谷の地域で実際に使われていたものにこだわりながらつくられたらいいと思います。

座長：ほかにいかがでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

座長：続きまして、魚類の保全対策に関する調査について、対策室より説明をお願いいたします。

*対策室より「2生物の生存環境現地調査 2魚類の保全対策に関する調査」について報告

座長：魚類の保全対策に関する調査について、委員の方々からご質問やご意見がございましたらお願いいたします。

対策室：1つだけ補足させていただきます。

先ほど、生活用具の製作についてのご質問がありましたけれども、この分野で使う道具

は、伝統漁法を試すためにつくって、それも展示して、子どもたちとの活動の中でも使うという流れになっています。

座長：ほかにありませんか。

（「なし」と発言する者あり）

座長：なければ、続きまして、動物の保全対策に関する調査につきまして、平取町アイヌ文化保全対策室より説明をお願いいたします。

* 対策室より「2 生物の生存環境現地調査 3 動物の保全対策に関する調査」について報告

座長：動物の保全対策に関する調査について、委員の方々からご質問、ご意見をお願いいたします。いかがでしょうか。

委員：先ほどのデータベースは、すごくいいものですね。これは、まだ作成中なのですか。例えば、一般や学校に貸し出したりというのはいつぐらいになるのか、もしわかれば教えてください。

対策室：今後、教育施設や、ダムの管理棟にも置いて、一般の方にも使ってもらえるようにしたいと思っております。また、これから内容を充実させていくつもりです。

座長：有効活用をよろしくをお願いいたします。

委員：今からでも貸し出しをしてもらえるのですか。

対策室：大丈夫です。一緒に行って、解説もさせていただきます。

座長：ほかにありませんか。

（「なし」と発言する者あり）

座長：なければ、続きまして、生活文化の保全対策に関する調査につきまして、対策室より説明をお願いいたします。

* 対策室より「3 生活文化の保全対策に関する調査」について報告

座長：生活文化の保全対策に関する調査について、委員の方々からご質問やご意見がござ

いましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

座長：（食文化試行レシピは）29種類のレシピを合わせると130ページということで、この活用はどのように考えているのでしょうか。

対策室：既に、レシピを小学校で活用したり、配布したりしています。

座長：平取でしか食べられないものをピックアップして活用できればと思っています。

委員：28ページの左下の5月15日、レタッタニの樹液煮詰めと書いているのですが、これはどのように利用しているのか、教えてください。

対策室：シラカバ樹液を煮詰めて、飴にして利用しています。

委員：イタヤカエデの樹液のほうが甘いと思うのですが、シラカバを利用している理由は何かあるのですか。

対策室：比較して試験をしています。

座長：ほかにございませんか。

（「なし」と発言する者あり）

座長：それでは、続きまして、文化景観の保全対策に関する調査につきまして、対策室より説明をお願いいたします。

*対策室より「4文化景観の保全対策に関する調査」について報告

座長：文化景観の保全対策に関する調査について、委員の方々からご質問、ご意見を伺いたいと思います。

委員：地名のものは非常におもしろいので、今後の展開をととても楽しみにしています。

今はパンフレットをつくられているようですが、ほかにも、スマホで見られるアプリとか、GPSと連動したようなものとか、そのようなことは考えていませんか。もしそういうものがあったらおもしろいと思うのですが、どうでしょうか。

対策室：今おっしゃったようなものはないのですが、これからできる施設の整備とともに、

整理していきたいと思います。楽しく学習できるような仕掛けがいっぱいできるといいなと思っています。

委員：既存の図面について、沢の名前が逆になっていたということを後から指摘されたりしています。今まであるものとの整合性というか、全部調べていって、地名を統一していくとか、どちらが正しいとか、そういうことを関係課や国土地理院とやっていくことは考えていますか。

対策室：今おっしゃったことは、この取り組みを始めてからの大きな課題で、地名のことをやられている方々が共通に悩むところだと思います。

私たちはデータベースをつくっていますが、国土地理院が版を新しくするごとに入れかわる箇所が必ずあるのです。それは、そういう経緯も含めて、とりあえずはデータベースの中にしっかり記録して、自分たち独自の判断は急がないと。今、統一という言葉がありましたけれども、その場所の言い方はこういう経過で変わってきたという資料をしっかりと集めたり、証言を拾って、委員会的なものをつくって緻密に結論を出していくという作業が統一のためには必要になると思います。今は、引っかかってきたデータをそのまま集めているという作業を基本にしています。

これは確からしい、これはできるのではないかと対策室で判断できるものは、注釈をしながら紹介させていただくというふうに取り組んでまいりました。

座長：そのほかいかがでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

座長：なければ、続きまして、アイヌ文化の普及方策に関する調査について、対策室より説明をお願いいたします。

*対策室より「5 アイヌ文化の普及方策に関する調査」について報告

座長：アイヌ文化の普及方策に関する調査について、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員：貫気別小学校でやっておられる試みについて、保護者から何か反応はありますか。

対策室：特にはありません。

今年度は、先生のほうでも、学級通信のようなもので、私たち対策室と協力してアイヌ文化学習をしているということをたくさん伝えてもらっております。

特に、アイヌ文化学習だから何ということはなく、子どもたちも楽しそうにやっている印象だという話を先生からは伺っています。

座長：ほかにありませんか。

（「なし」と発言する者あり）

座長：続きまして、栽培実験の継続に関する調査について、対策室より説明をお願いいたします。

* 対策室より「6 栽培実験の継続に関する調査」について報告

座長：栽培実験の継続に関する調査について、委員の方々からご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

（「なし」と発言する者あり）

座長：続きまして、沙流川河道掘削に伴う事前調査につきまして、対策室より説明をお願いいたします。

* 対策室より「7 沙流川河道掘削における事前調査」について報告

座長：沙流川河道掘削に伴う事前調査について報告がありました。委員の方々からご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

（「なし」と発言する者あり）

座長：続きまして、アイヌ文化保全対策の実施に向けた調整・整理について、対策室より説明をお願いいたします。

* 対策室より「8 アイヌ文化保全対策の実施に向けた調整・整理」について報告

座長：アイヌ文化保全対策の実施に向けた整理・調整について報告がありました。これらについて、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員：ちょっとお答えしづらいかもしれませんが、対策の実施に向けた調整等を進めておられて、一番ご苦労されているのはどういう点ですか。

対策室：大事なお質問をありがとうございます。

気楽な意見を言うなどスタッフからしかられるかもしれませんが、今まで、いろいろ調べて対策の提案をさせていただいたり、いろいろな方々の意向を形にしてという作業をしてきまして、ここにきて、いろいろな分野でそれが形になろうとしています。開発局のほうでも、地域の方々と調整し、取り組んでいただいています。三者会議とか、ワーキングとか、最近はミッションという言い方をしていますけれども、毎週のようにミーティングをして進めていってございまして、大変ではあるのですが、それを目指してきたと言えるような動きになっています。ただ、それに応えるには力不足というか、スタッフも大変な思いをして、内心、じくじたる場所があるのですけれども、うれしい悲鳴と言っている状態かと思えます。

ハルニレの話の最後にしようと思っていたのですが、ご存じのように、ハルニレ、チキサニは、人間が火を手にしたことを想起させるような神話と結びついて、とても大事な扱いを受けているものかと思えます。ところが、新しく入ってきた入植者向けの手引には、ハルニレが生えているところは農耕に適しており、成功間違いなしというか、しっかり取り組めば収穫が得られる場所であると書いてあります。

今、このエリアでは3本のハルニレが意味ありげに残されています。多分、耕作をしていた方々のいろいろな思いが入って残されてきた木のように思います。植物生態学をやっている方からすると、ここは放っておくと種を飛ばしてハルニレがどんどん増えていくところだということもあって、実生が生えやすくなるとか、試験といってもそんな感じでやっています。そういう伝統的な民族のかかわり、あるいは、地域の方々の思いも掘り起こしながらやっていくと、とてもいい取り組みになっていくと思えます。環境の面でも景観の面でもいろいろな可能性があると思っています。

幸い、この事業については、開発局としても、町としても取り組んでございまして、アイヌ協会のしっかりした関与が当初からあって、可能性をますます広げていくようなプロジェクトになりつつあると自負をしております。

座長：そのほか、ご意見等はありませんか。

（「なし」と発言する者あり）

座長：今日はどうもありがとうございました。

本日いただきましたご意見を踏まえながら、引き続き、地域文化の調査・検討を進めていただきたいと思います。

本日用意された議題はこれで全て終わりましたので、事務局にお返しいたします。

6. 閉 会

事務局：座長、ありがとうございました。

事務局といたしまして、本日のご意見を踏まえて、今後とも委員各位のご指導をいただき、ご相談させていただきながら調査・検討を進めてまいりたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、次回検討会は、日程を調整の上、改めてご案内いたします。

また、本日の資料につきましては、室蘭開発建設部のホームページに掲載する予定としております。

それでは、以上をもちまして、第19回平取ダム地域文化保全対策検討会を閉会いたします。

本日は、大変ありがとうございました。

以 上